おらが町に新たな文化を！
みんなで踊ろう「やくも音頭」

八雲ゆう人会　石原泰仁

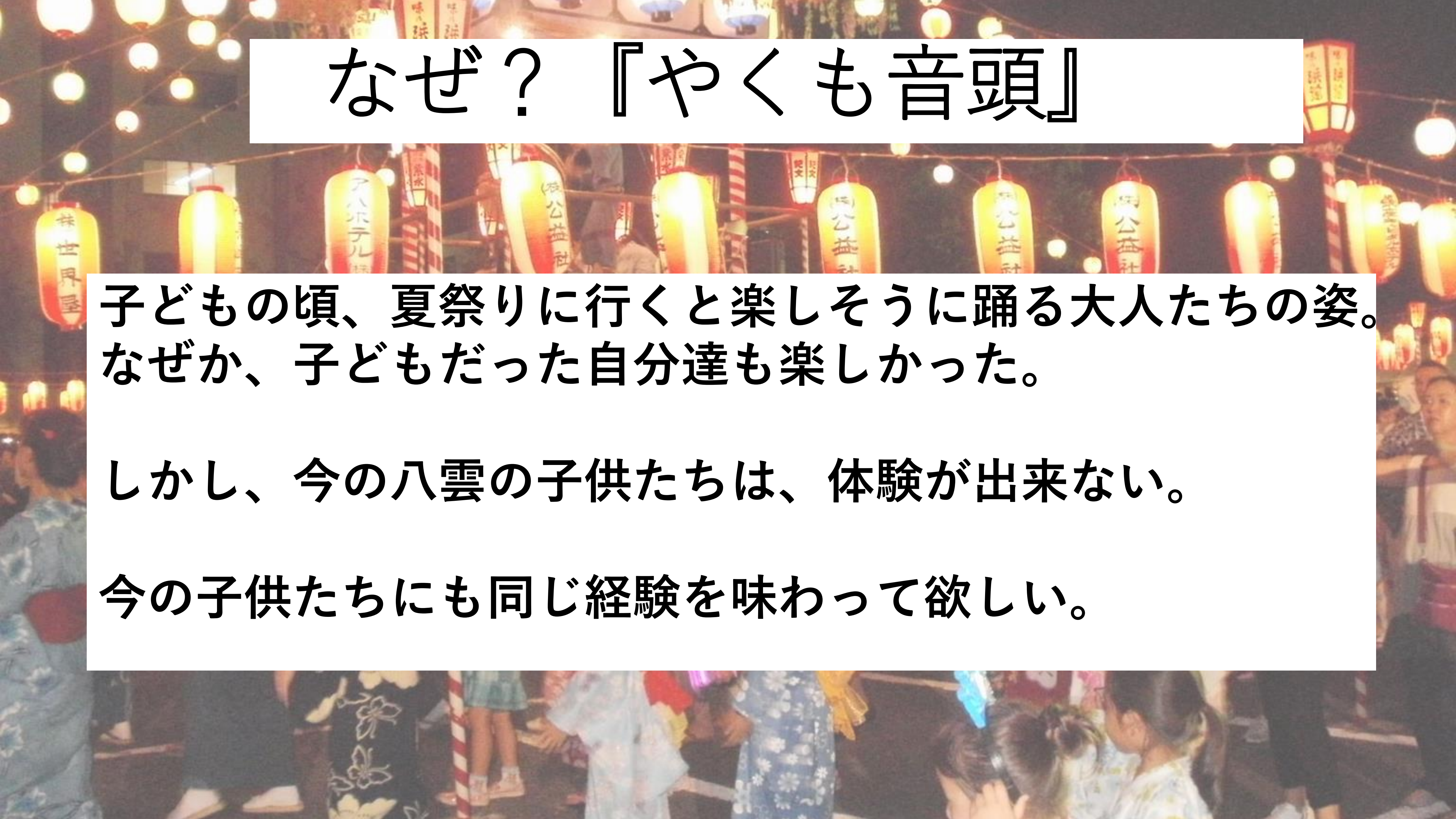
八雲ゆう人会とは・・・

- 昭和６０、６１年生まれを中心に結成
- 「ゆう」・・・意宇川、友、YOU
- 松江市八雲町出身のメンバーで構成

【目的】

①『自分を育ててくれた八雲のために何かできないか』
②皆が盛り上がるような活動を通して八雲を活性化したい
③八雲を町外の方々へ知ってもらいたい

平成27年～
八雲ゆう游こいのぼりの運営



なぜ？『やくも音頭』

子どもの頃、夏祭りに行くと楽しそうに踊る大人たちの姿。
なぜか、子どもだった自分達も楽しかった。

しかし、今の八雲の子供たちは、体験が出来ない。

今の子供たちにも同じ経験を味わって欲しい。

共創のまちづくり補助金で何を行ったか。

『八雲モクモク音頭』

＋

『恋の祭囃子
〜八雲橋でつかまえて〜』

↓

2曲の音頭を作成

やくも音頭作成による共創・協働の形

・やくも夏まつり実行委員会
・八雲青少年育成の会

やくも音頭実用に向けて
同調して活動

・八雲まちづくり委員会
（松江市八雲支所・八雲公民館・八雲町自治会連合会）
・八雲町地域振興活動団体交流会

やくも音頭実用に向けて活動の周知協力

八雲地域ガイドマップ作成委員会
によるやくも音頭制作

名前	所属
豊田美智子	元松江地域おこし協力隊
佐藤朋也	元松江地域おこし協力隊・ 元子供向け番組放送作家
越野貴義	安来市地域おこし協力隊　八雲町出身 アーティスト（メジャーバンドDOMINO88）
原田泰人	よしとの紙芝居　八雲町在住
前村晴菜	2020国際子どもと舞台芸術・未来フェスティバル　事務局所属　　　元NPO法人あしぶえ職員
森脇啓太	カメラマン

八雲（松江）の魅力 一冊に

亀太夫神事、こいのぼり、こだわりの店…

完成したガイドブックを手に八雲町をPRしようと意気込むメンバー

松江市八雲町の魅力を紹介するガイドブック「ぼくたちの新・八雲風土記」を、同町ゆかりの若者7人が制作した。熊野大社や安部榮四郎記念館など地元の観光スポットや地域のこだわりの商店を掲載。観光案内所など町内外の50カ所で無料配布しており、メンバーは「八雲の良さを知ってもらうきっかけになれば」と話している。

（坂本彩子）

町ゆかりの若者 7人がガイド本

同町にはこれまで手頃なガイドブックがなく、元松江市地域おこし協力隊員でデザイナーの豊田美智子さん(35)が発起人となり、同町在住のイラストレーターなどに声をかけ、20～40代のメンバーで制作した。

出雲大社が奉納した神餅の出来栄えに熊野大社が注文をつける「亀太夫神事」や、同町を流れる意宇川にこいのぼりを掲げるイベント「八雲ゆう游こいのぼり」を紹介。同町特産の梅やイノシシ肉を使った加工品や、明治創業の食料品店など町内の名物店も掲載した。

イラストを多用し、幅広い年齢層に親しんでもらえるよう工夫したとし、豊田さんは「ガイドブック片手に町を散策してほしい」と話した。

B5判16㌻で2千部を印刷。松江市役所八雲支所（松江市八雲町西岩坂）や松江国際観光案内所（同市朝日町）、にほんばし島根館（東京）などで手に入る。

共創の形

八雲小学校3・4年生にアンケートを実施

「八雲の好きな場所」　「八雲の好きな動物」

「親水公園」　「熊野大社」

「イノシシ」　「蛍」

上記のキーワードを基に、歌詞を作成

当初想定していなかった共創の形

島根大学ダンスサークルSCRUMとの共創

①一緒に振り付けを考える
②お祭り当日や練習会の際に、
参加者へ振り付けを教えてもらった
③若い大学生と一緒に行う事で、
雰囲気が良くなった

やくも音頭の活用※令和元年度

①「やくも夏まつり」での住民参加による踊り
（３００名）
②「たけかや保育園」夏祭り　（１００名）
③「八雲町文化祭」での発表　（５０名）
④17時の「防災放送」での町内放送
（８月１日～８月１４日）
⑤SNS・YOUTUBE等での発信

参加者の感想

- みんなで一緒に踊れて楽しかった（子ども）
- 楽曲が耳に残り、夏祭りが終わったあとでも子どもが口ずさんでいる（３０代女性）
- 踊りも八雲に馴染みのあるキーワードに沿った踊りであり、覚えやすい(５０代男性)
- 高齢者が踊る音頭にしては、踊りの内容がハードであった。（７０代女性）

活動を振り返って

①助成が決まってからのスケジュールが厳しかった
助成決定前に動くことは出来ないが、方向性やビジョンは
しっかり持っておく

②意外な可能性があるので、チャレンジをしていく
島根大学ダンスサークルSCRUMとは何もコネクションが
無かった。
いきなりSNSへ連絡をしたら、結果として共創が出来た。

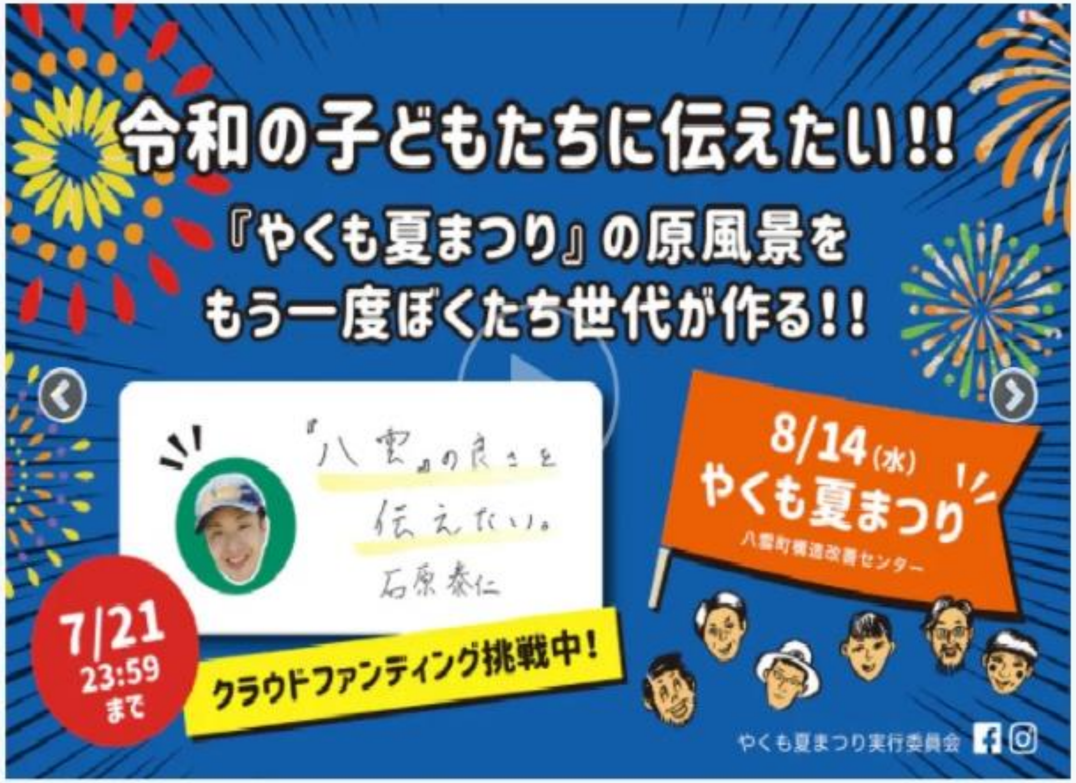
事業を行う上で、困ったこと

音頭の楽曲・振付を
作っていく為の資金不足

クラウドファンディングを実施し、
資金を調達

AMPFIRE　キーワード検索

はじめる　さがす　クラウドファンディングとは？　CM公開中



¥ 現在の支援総額

408,500円

136%

目標金額は300,000円

支援者数

88人

募集終了まで残り

終了

お気に入り 0

おめでとうございます

令和元年8月14日の島根県松江市八雲町。一度消えかけた夏まつりのバトンを継ぐことになりました！お祭の『音頭』CDを作り、その原風景を紙芝居で伝えたい！子どもたちが大人になった時、誰かに自慢したくなるような、帰って来たくなるような、ふるさとの夏の夜を

このプロジェクトは、2019-05-30に募集を開始し、88人の支援により408,500円の資金を集め、2019-07-2

事業を行う上で、現在困っている事

活用の場がない!!

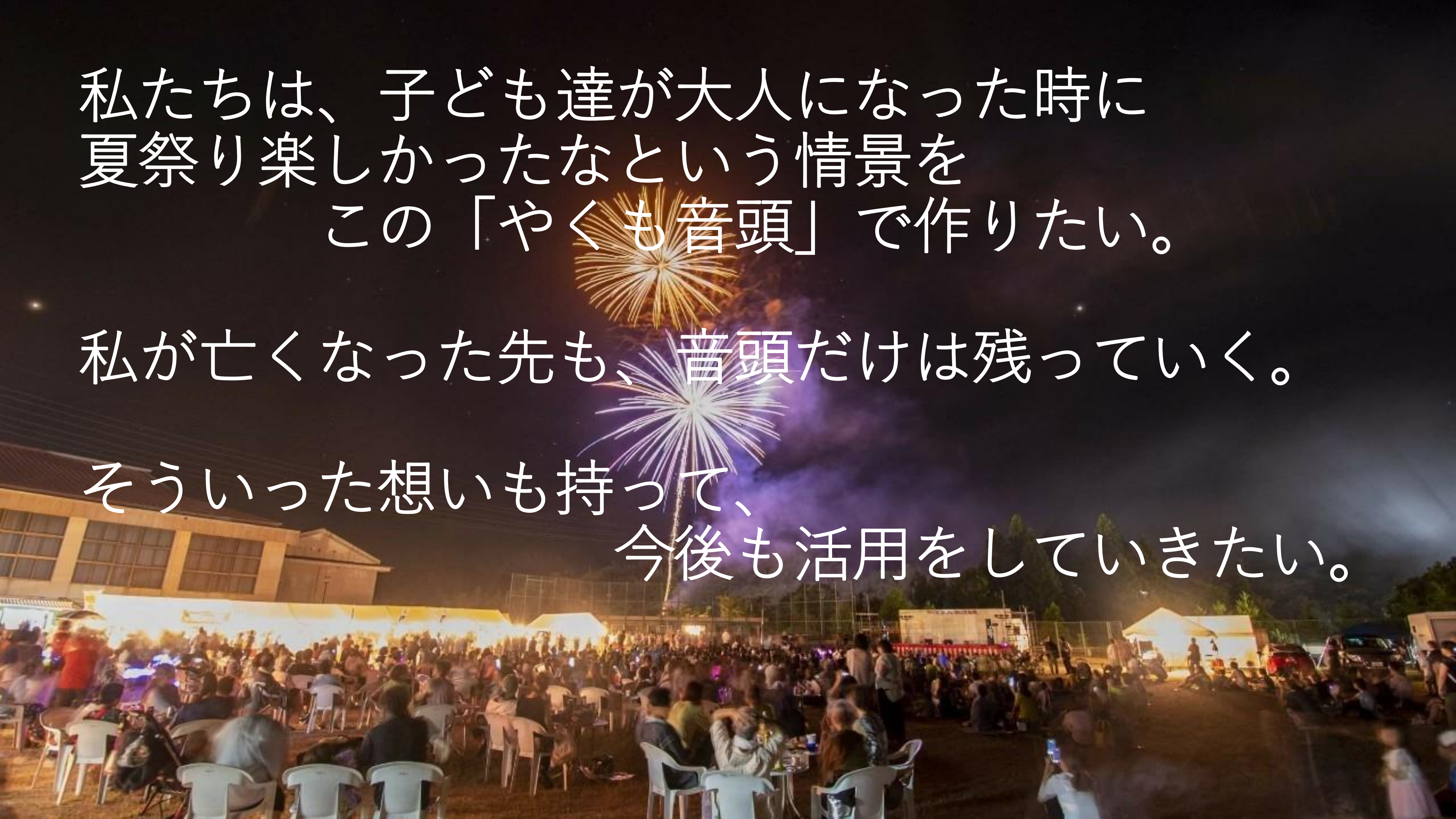
↓

無理に活用して、周囲の人が疲弊してもいけないので、充電期間として捉えています。

今後の活用の見込み

- 今年度も八雲町内の保育園の運動会では、踊ってもらった。

·八雲ゆう游こいのぼり会場で活用
・やくも夏まつり会場で活用
・八雲町内全保育園での、活用を改めて啓発
・八雲中学校の授業で活用



私たちは、子ども達が大人になった時に
夏祭り楽しかったなという情景を
この「やくも音頭」で作りたい。

私が亡くなった先も、音頭だけは残っていく。

そういった想いも持って、
今後も活用をしていきたい。